

令和4年度葛飾区行政評価委員会 議事要旨

会議名	葛飾区行政評価委員会 第1回全体会
開催日時	令和4年7月6日(水) 午後2時から4時まで
開催場所	葛飾区役所新館5階 庁議室
出席者	【委員16人】 大石会長、小松原委員、鈴木委員、大山委員、折登委員、 菅原委員、大伴委員、倉持委員、岩田委員、大友委員、上村委員、 谷本委員、千田委員、服部委員、荻野委員、長谷川委員 【区側6人】 区長、事務局(政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員5人)

会議概要

1 開会

2 委員委嘱

(区長より各委員に葛飾区行政評価委員会委員を委嘱)

3 区長挨拶(要旨)

今般、本区において私立保育園への補助金の過払いが発覚した。

区では子育て支援について積極的に取組を進めるため、保育の質の向上を目的に、保育士のパート雇用に対し補助金を支出していたが、補助金支払いのためのシステムを設計した際に、設定に誤りがあったことが原因であった。これは区の責任であり、改めてお詫びを申し上げたい。

今後はこのようなことがないように、区でこれ以外の支払いに関するシステムの総点検を行い、誤りのない業務の仕組みを構築していきたい。

結果として、保育士を増加させることで、子どもたちにも保護者の皆様にも喜んでいただけた面もあるため、誤って補助金を支出してしまったものの、パートの保育士の雇用に使用された部分は返還を求めない方向で調整を進め、そうでない部分は返還を求める方向で考えている。

今後、このような誤りが起こらないように、組織や業務の仕組みなど様々改善すべき点があるが、ヒューマンエラーは必ず起こるので、その影響をいかに小さくするか、いかに早く発見するか、そしてどのように対処ができるかについて、今後取り組んでいきたい。

また、このところ新型コロナウイルス感染症の感染状況が以前のように強

まりつつある一方、区ではワクチン接種も進めている。3回目接種は、現在65歳以上の方が9割、一般の方も含めると6割以上の方のワクチン接種が完了している。しかし、若年層のワクチン接種が進んでいないので、区では率先して武田社製のノババックスも摂取できるように進めている。区民の方に感染が拡大しないようにワクチン接種を進めながらも、平常時に戻れるように取り組んでいく。

行政評価委員会では、これまで多くの事務事業を委員の皆様には評価していただいていた。今回は4事務事業だが、詳細に調査、検討をしていただき、委員会の意見や評価を参考にして、区政全般においても、新たな方向性を見出していきたいと考えている。

4 要綱説明

事務局より葛飾区行政評価委員会設置要綱について説明

5 会長挨拶

6 委員紹介

会長より委員の名前、選出区分、所属分科会の紹介
政策経営部長挨拶
事務局職員紹介

7 行政評価委員会の運営方法について

会議の公開
会議の記録の公開
委員の名簿の公開
今後の日程について

8 行政評価委員会の概要について

事務局及び会長より行政評価委員会の概要について説明及び質疑応答

会 長：今回の評価対象事業は、それぞれ資料4-⑦のどの政策・施策に該当するか。

事 務 局：まず、「雇用・就業マッチング支援事業」は、政策18「産業」の施策名04「キャリアアップ・就労支援」、「認知症対策事業」は、政策06「高齢者支援」の施策名03「高齢者要介護・自立支援」、「学校施設を活用した放課後子ども支援事業」は政策08「子ども・家庭支援」の施策名04「放課後支援」、「防災の意識啓発」は、政

策 14「防災・生活安全」の施策名 03「防災活動」に該当する。

A 委員：政策、施策の番号は、資料 4-②「令和 4 年度葛飾行政評価委員会評価表」の基本情報の政策番号、施策番号に該当するのか。

事務局：そのとおりである。

A 委員：資料 4-⑥評価表の「予算及び決算状況」における人件費単価はどのように算出しているのか。

事務局：職員の給与総額を職員数で徐して算出している。職員の給与総額は、職員の年齢構成によっても変化するため、各年度の人件費単価も変動している。

B 委員：2月の第3回全体会で総括をしているが、以前の所管課の報告には、今後について「検討する」としていることが少なくなかった。翌年度に時間を設けて、進捗状況を所管課からさらに報告してもらってはどうか。

会長：そういったご意見は今までもあったが、行政評価委員会で提案したことが所管課や区全体でどのように反映されているかを把握するため、2月の第3回全体会を実施している。第3回全体会には所管課も出席していただいている。

C 委員：どのような形で発言すれば良いか。

会長：自由な議論が基本であり、委員の皆様が感じたことを発言していただければ良いと考えている。

D 委員：資料 4-②「令和 4 年度 葛飾区行政評価委員会評価表」の所管課による自己評価の部分で。「効率性」の項目があるが、記載してある内容があまり良くない。

この資料は例示だと思うが、他事業との比較など、具体的にどの部分が効率的なのか記載してほしい。

事務局：評価表はすでに作成しているが、効率性の部分の記載内容が足りない場合は、追加で説明するよう所管課に依頼する。

D 委員：毎回委員会で他区、他自治体との比較の質問が出る。

委員が自ら調べるべきなのか、所管課が業務を見直すために、調べるべきなのか。私は双方で調べる方がいいと思うがどうなのか。

事務局：委員がおっしゃるとおり、双方で調べると良いと思うが、所管課にも他自治体の事例を説明できるように依頼する。

D 委員：新型コロナウイルスの影響により、何が実施できなかったのか、実施できないことによって、どのような影響があったのかを検証する必要があると思う。その検証を踏まえて、今後、新型コロナ

ウイルスと共存した形で、どう事業を実施することができるか、議論することが大事だと思う。

事務局：感染が拡大するなかで、イベント等の影響が出ることが考えられる。そのなかで、どのように実施していくか、考える必要がある。今回、評価表にそのような項目はないが、所管課には、どのような実施手段があるか、課長には具体的に考えてもらうよう対応する。予算に対して、決算額を見れば、実施できていないことがわかると思う。新型コロナウイルスの影響によって実施できず、何か問題があったかを議論で深めていただければと思っている。

E 委員：他自治体の状況をどのように収集すればいいのか分からない部分もあるが、次の分科会までに調べたい。

F 委員：私もどのように事業の情報を収集すれば良いか不安があるが、次の分科会までに、自分で考えて、情報をできるだけ集めたいと思う。

事務局：資料4-②「令和4年度 葛飾区行政評価委員会評価表」の「予算、及び決算状況」の部分で、令和元年度の執行額が予算額を超えた数字が記載されている。

これは例示ではあるが誤りなので、資料を差し替えさせていただく。

9 分科会別打ち合わせ

(分科会ごとに分かれて、自己紹介と日程の確認)

10 その他

(事務局より事務連絡)

11 閉会